

りょういき にんげん しゃかい
＜領域：人間と社会＞

にんげん そんげん じりつ
人間の尊厳と自立

もんだい つぎ きじゆつ かいごふくししよく してん おこな
問題 1 次の記述のうち、介護福祉職がアドボカシー(advocacy)の視点から行

たいおう もっと てきせつ えら
対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護を行う前には、利用者に十分な説明をして同意を得る。
かいご おこな まえ りようしゃ じゅうぶん せつめい どうい え
- 2 利用者の介護計画を作成するときに、他職種に専門的な助言を求める。
りようしゃ かいごけいかく さくせい たしよくしゆ せんもんてき じょげん もと
- 3 利用者個人の趣味を生かして、レクリエーション活動を行う。
りようしゃこじん しゅみ い かつどう おこな
- 4 希望を言い出しにくい利用者の意思をくみ取り、その実現に向けて働きかける。
きぼう い だ りようしゃ い し と じつげん む はたら
- 5 視覚障害者が必要とする情報を、利用しやすいようにする。
しかくしょうがいしゃ ひつよう じょうほう りよう

もんだい 2 Aさん(83歳, 女性, 要介護3)は, 脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症
ひだりかたまひ かいごろうじんふくししせつ せいかつ かぞく
で左片麻痺があり, 介護老人福祉施設で生活している。家族から, 「できることは
じぶん おこな きぼう じしつ しょくどう くるま じ
自分で行ってほしい」と希望があり, Aさんは自室から食堂まで車いすで自
そう にっか
走することを日課としている。

しゅうかんまえ かいごふくししやうせいしせつ がくせい じっしゅう かいし
1週間前から, 介護福祉士養成施設の学生がAさんのフロアで実習を開始した。
すうじつまえ じっしゅうせい きょう うで いた しょくどう くるま お
数日前からAさんは実習生に, 「今日は腕が痛いので, 食堂まで車いすを押して
ください」と依頼するようになった。悩んだ実習生は, 実習指導者に相談をした。
じっしゅうせい たい じっしゅうしどうしや さいしよ じよげん もっと てきせつ えら
実習生に対する実習指導者の最初の助言として, 最も適切なものを1つ選
さい。

- 1 「Aさんの腕は痛くないので, 気にしないでください」
うで いた き
- 2 「どのようなときも, Aさん自身で行っていただく必要があります」
じしん おこな ひつよう
- 3 「ご家族から自分で行うように, 言われています」
かぞく じぶん おこな い
- 4 「それは自立につながらないので, 車いすを押さないでください」
じりつ くるま お
- 5 「Aさんが依頼する理由を, まず考えてみる大切です」
いらい りゆう かんが たいせつ